

平成19年 5月17日
農 林 水 産 省

平成19年度病虫害発生予報第2号

向こう1ヶ月の主要な病虫害の発生動向は、麦類のうどんこ病、かんきつのかいよう病、いちご等果菜類の灰色かび病の発生がやや多く、果樹類及び果菜類のハダニ類の発生が多い予想となっています。

天候の1ヶ月予報では、北日本では、期間の前半は平年に比べ曇りや雨の日が多く、南西諸島では、期間のはじめは平年に比べ晴れの日が多いが、その後は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みと予想されています。

また、平均気温は、東日本では平年並または高いと予想されています。降水量及び日照時間は全国的に平年並と予想されています。

病虫害防除に当たっては、天気の状態に注意しつつ、都道府県の発生予察情報に留意し、地域ごとの防除要否を見極めて、適切な防除を行ってください。

【用語の解説】

【発生量（程度）】

多	い（高	い）	やや多いの外側10%の度数の入る幅
やや多	い（やや高	い）	平年並の外側20%の度数の入る幅
平年並			平年値を中心として40%の度数の入る幅
やや少ない	（やや低	い）	平年並の外側20%の度数の入る幅
少ない	（低	い）	やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

【地 域】

北海道	北海道						
東北	北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県					
関東	東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県					
甲信	信	山梨県、長野県					
北陸	陸	新潟県、富山県、石川県、福井県					
北東	海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県					
近畿	畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県					
中国	国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県					
四国	国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県					
九州	州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県					
沖縄	縄	沖縄県					
北海道	北	青森県、岩手県、秋田県					
東北	北	宮城県、山形県、福島県					
北関東	東	茨城県、栃木県、群馬県					
北関東	東	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県					
北九州	州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県					
北九州	州	熊本県、宮崎県、鹿児島県					

【稲】

いもち病については、早期水稻の葉いもちの発生は「平年並」、普通期水稻の苗いもちの発生は南関東の一部地域で「やや多い」と予想されます。田植えが既に終了した地域では、本田に放置したままの補植用取置き苗がいもち病の伝染源になるので、早期に除去して下さい。また、今後、葉いもちの発生に注意し、ほ場内の発生状況の把握に努め、適切な防除を行ってください。

縞葉枯病の発生は東海、中国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。これらの地域では、本病の病原ウイルスを媒介するヒメトビウンカの発生も多く、また、ウイルス保毒虫率が平年値より高いところもあります。本害虫の本田への侵入を防止するため、育苗箱施用薬剤等による適切な防除を行い、発病株が認められた場合には早期に抜き取り、処分してください。

【麦】

昨年多発した赤かび病の発生は、関東及び東海の一部地域で「やや多い」、その他の地域では「平年並以下」と予想されます。麦のデオキシニバレノール汚染の原因となる赤かび病は、開花期の穂に感染し、高温、多雨傾向になると発生が助長されるため、あらかじめ出穂・開花期を予測し、適切な薬剤防除を行ってください。また、出穂・開花期に降雨が続く場合には、雨の合間を見て追加の防除を行ってください。

うどんこ病の発生は北海道、北東北、南関東、東海、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。今後の発生状況に注意してください。

【果樹】

（果樹共通）

果樹カメムシ類の発生は北東北及び四国の一部地域で「やや多い」と予想され、その他の地域では「平年並以下」と予想されます。しかし、今後、気温が高温で推移する場合には、果樹園への飛来時期が早まる可能性があるため、果樹園の観察をきめ細かく行い、飛来初期からの防除を徹底するよう心掛けてください。

（かんきつ）

かいよう病の発生は近畿、中国、四国及び北九州の一部地域で「やや多い～多い」、そうか病の発生は北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。伝染源となる発病葉及び発病枝は除去して、確実に園外で処分し、発生に応じて薬剤散布を実施してください。

黒点病の発生は四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。伝染防止のため枯れ枝は除去し、発生に応じて薬剤散布を実施してください。

灰色かび病の発生は四国及び九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。本病菌は花卉に感染するため、着花量が多い地域や開花期以降に降雨が多い地域では発生に注意し、適期の薬剤散布を実施してください。

ミカンハダニの発生は南関東、近畿、四国及び九州の一部地域で「やや多い～多い」と予想されます。園内観察を行い、発生に応じて薬剤を散布してください。

（りんご）

モニリア病の発生は北東北の一部地域で「やや多い」と予想されます。葉腐れ・花腐れの被害部を摘み取り、実腐れ・株腐れの発病防止に努めてください。

腐らん病の発生は北東北及び甲信の一部地域で「やや多い」と予想されます。果

樹園の観察をきめ細かく行い、発病枝の除去、病斑部の削り取りと薬剤塗布を適切に実施してください。

リンゴハダニの発生は北東北の一部地域で「やや多い～多い」、北海道で「やや多い」と予想されます。園内観察を行い、発生に応じて薬剤を散布してください。

(なし)

黒星病の発生は北九州の一部地域で「やや多い～多い」、南東北、関東、北陸、東海、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。昨年多発した地域では発病葉、発病果及び発病した新梢の除去に努めてください。

ハダニ類の発生は北東北、南関東及び中国の一部地域で「やや多い」、アブラムシ類の発生は中国の一部地域で「多い」、南関東、東海及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。園内観察を行い、発生に応じて薬剤を散布してください。

(もも)

せん孔細菌病の発生は北陸、近畿及び中国の一部地域で「やや多い」と予想されます。本病は降雨や強風により発生が助長されるので、天候に注意し、適期防除を実施してください。また、摘果作業にあわせて発病枝を除去してください。

モモハモグリガの発生は南東北、甲信、東海及び四国の一部地域で「やや多い」と予想されます。園内観察を行い、発生に応じて薬剤を散布してください。

(かき)

炭そ病の発生は北陸、近畿、中国及び北九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。果樹園の観察をきめ細かく行い、発病枝の除去を行ってください。幼果及び新梢での発生を抑えるため、適期防除を実施してください。

【茶】

チャノコカクモンハマキ及びチャハマキの発生は南関東の一部地域で「多い」と予想されます。地域の予察灯やフェロモントラップでの誘殺状況に応じて、適期に防除してください。

カンザワハダニの発生は南関東の一部地域で「多い」、南九州の一部地域で「やや多い～多い」、東海の一部地域で「やや多い」、チャノキイロアザミウマの発生は南関東の一部地域で「やや多い」、九州の一部地域で「やや多い～多い」、チャノミドリヒメヨコバイの発生は九州の一部地域で「やや多い～多い」、ツマグロアオカスミカメの発生は南関東及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。これらの害虫が多く発生している茶園では、二番茶の萌芽期に薬剤による防除を行ってください。

クワシロカイガラムシの発生は南九州の一部地域で「多い」、クワコナカイガラムシの発生は東海の一部地域で「やや多い～多い」、近畿の一部地域で「やや多い」と予想されます。ふ化した幼虫の発生状況を観察し、ふ化最盛期に薬剤散布を実施してください。

【野菜】

(施設栽培)

今後の発生量が多い・やや多いと予想される病虫害及び対象地域

施設作物名/病虫害名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
トマト 灰色かび病 葉かび病 アブラムシ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	関東、南九州 - - 北関東、南九州 -	北陸 南九州 南関東 南関東 北関東、北九州
なす すすかび病 灰色かび病 アザミウマ類 コナジラミ類 ハモグリバエ類	- - 近畿、四国 四国、南九州 -	近畿、北九州 四国 北関東、中国 北九州 北九州
ピーマン・シシトウ うどんこ病 アザミウマ類 コナジラミ類	南九州 四国、南九州 四国	四国 北関東 -
きゅうり べと病 褐斑病 黄化えそ病 アザミウマ類 コナジラミ類	- 北関東 四国 南九州 -	関東 南東北、四国 - 四国 北関東、四国
すいか アブラムシ類 ハダニ類	- -	中国 関東、中国
メロン べと病 アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ハダニ類 ハモグリバエ類	- - 南九州 - - -	北関東 中国 - 南九州 中国 北関東
いちご 灰色かび病 アブラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類 ハダニ類	北関東 - 南九州 北関東 関東、東海、北九州	南東北、近畿、中国 北九州 - 南関東 近畿、四国、南九州

施設栽培では、施設内の温度や湿度の条件により、病害が発生しやすい場合があります。施設内の適切な温湿度管理を行い、病気の発生しやすい環境を作らないようにしてください。さらに、ウイルス病を発病した植物体は伝染源となるので、早期に抜き取り、施設外に除去し土中に埋める等、確実に処分してください。

また、ウイルスを媒介するアブラムシ類、コナジラミ類及びアザミウマ類の発生の抑制は、ウイルス病防除対策としても効果的です。これらの害虫の発生源となる施設内及び周辺の雑草を定期的に除草してください。さらに、これらの害虫（保毒虫）の施設内への侵入及び野外への飛び出しを防ぐために、施設開口部に防虫ネットを設置するとともに、栽培終了後は施設の蒸し込み処理等を行い、生存虫を死滅させてから搬出してください。

なお、薬剤散布を実施する場合には、病虫害が薬剤への抵抗性を獲得しないよう

に、同一系統薬剤の連続使用を避け、適切な防除に努めてください。

（露地栽培）

今後の発生量が多い・やや多いと予想される病害虫及び対象地域

露地作物名 / 病害虫名	発生が多い地域	発生がやや多い地域
キャベツ 菌核病 コナガ	- -	近畿 南関東、近畿
たまねぎ 軟腐病 腐敗病 べと病 アブラムシ類 アザミウマ類	- - - 南関東 -	中国 中国 近畿、中国 - 近畿、北九州
ねぎ さび病 べと病 アブラムシ類 アザミウマ類	関東 - 南関東 北関東	北九州 関東 - 近畿、北九州

露地栽培においては、気象の影響を受けやすいことから、今後、周期的に変化する天候に注意し、病害虫の早期発見及び早期防除に努めてください。

また、発病株は、早期に抜き取ってほ場から除去し、病原体の拡散を防止してください。

【花き類】

（きく）

アブラムシ類の発生は、北陸の一部地域で「多い」、東海及び中国の一部地域で「やや多い」と予想され、白さび病の発生は、近畿の一部で「多い」、北陸及び南九州の一部地域で「やや多い」と予想されます。ほ場内でのこれら病害虫の発生状況を観察し、適切な防除に努めてください。

【その他】

前回（平成１９年４月１９日）以降、各都道府県が発表している発生予察情報は下記のとおりです。

○注意報（前回未掲載分）

発表月日	県名	作物名	病害虫名
4月19日	神奈川	かんきつ、キウイフルーツ	クワゴマダラヒトリ

○注意報

発表月日	県名	作物名	病害虫名
4月24日	和歌山	水稻	イネ縞葉枯病
4月25日	大阪	なす	ミナミキイロアザミウマ
4月26日	和歌山	たまねぎ	べと病

○注意報（つづき）

発表月日	県名	作物名	病虫害名
4月26日	香川	野菜類（特にアスパラガス、ねぎ、たまねぎ、にんにく）、花き類、ハウスみかん	ネギアザミウマ
4月27日	宮崎	茶	クワシロカイガラムシ
4月27日	福岡	なし	黒星病

○特殊報

発表月日	県名	作物名	病虫害名
4月23日	東京	茶	クワシロカイガラムシ
4月26日	栃木	きく	キク茎えそ病（仮称） （CSNV）

<平成19年度の病虫害発生予察予報の発表日程>

第1号	4月19日（木）・・・公表済み
第2号	5月17日（木）・・・今回発表
第3号	6月14日（木）
第4号	7月12日（木）
第5号	7月26日（木）
第6号	8月9日（木）
第7号	9月6日（木）
第8号	11月29日（木）
第9号	2月28日（木）

連絡先 消費・安全局植物防疫課
防除第1班 大岡、城島
電話 直通（3502）3382
代表（3502）8111
内線 4562
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.maff.go.jp/www.press/press.html>